



# 決算説明補足資料

—2018年11月期第1四半期—

株式会社ラクト・ジャパン

# 目次

1. 業績概要 P. 2
2. 事業別売上高及び数量推移 P. 3
3. 連結貸借対照表 P. 4

## ■ 参考資料

- ・ 当社の為替リスクと会計上の表示について
- ・ 売買取引のイメージ（為替の影響）

# 1. 業績概要



(単位：百万円)

	2017/11 1 Q	2018/11 1Q			2018/11
		実績	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率(%)	年間予想
連 結 売 上 高	21,777	29,461	+7,684	135.3	110,300
経 常 利 益	1,272	745	△527	58.6	2,600
売上高経常利益率 (%)	5.8	2.5	△3.3	-	2.4
(経常利益に含まれる為替影響額※)	(+595)	(△44)	(△639)	-	-
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	857	493	△364	57.5	1,800
売上高当期純利益率 (%)	3.9	1.7	△2.2	-	1.6
一 株 当 たり 四 半 期 (当期)純利益(円)	175.28	100.81	△74.47	57.5	367.91
為替レート(円/USD)	114.62	110.61	△4.01	-	-
為替レート(円/EURO)	121.58	134.17	+12.59	-	-

(財務数値の表示は端数切り捨て)

※経常利益に含まれる為替影響額：当社は外貨為替会計処理基準における原則法を採用しているため、為替ヘッジの影響が売上原価と営業外損益の両方に計上されます。その売上原価と営業外損益両方に対する為替ヘッジの影響額を記載しております(詳細はP5以降の参考資料をご覧ください。)

## 2. 事業別売上高および数量推移

	2017/11				2018/11	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	年間予想
<b>事業別売上高</b>	(単位：百万円)					
乳原料・チーズ	13,573	16,349	19,276	20,821	21,972	78,400
食肉加工品	4,301	4,087	3,520	3,345	3,337	15,000
アジア-乳原料販売	3,253	3,627	2,895	3,574	3,436	13,500
アジア-チーズ製造販売	453	437	482	547	499	2,200
その他	197	201	194	201	216	1,200
売上高合計	21,777	24,701	26,368	28,488	29,461	110,300

	(単位：MT)					
	乳原料・チーズ	35,772	39,795	47,729	49,589	53,509
食肉加工品	7,492	7,085	6,030	5,742	5,789	26,000
アジア-乳原料販売	10,847	12,258	10,068	11,841	11,977	49,600
アジア-チーズ製造販売	615	560	631	703	643	2,900

(数値の表示は端数切り捨て)

# 3. 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2017/11月末	2018/2月末	増減額
<b>流動資産</b>	<b>43,491</b>	<b>45,917</b>	<b>+2,426</b>
現金及び預金	4,006	4,702	+695
受取手形及び売掛金	17,198	18,415	+1,217
棚卸資産	21,446	22,214	+768
流動資産その他	840	585	△254
<b>固定資産</b>	<b>2,413</b>	<b>2,451</b>	<b>+37</b>
有形固定資産	559	514	△45
無形固定資産	20	20	0
投資その他の資産	1,833	1,916	+83
<b>資産合計</b>	<b>45,905</b>	<b>48,369</b>	<b>+2,464</b>
買掛金	11,411	9,157	△2,254
有利子負債	19,778	24,559	+4,781
負債その他	1,931	2,098	+167
<b>負債合計</b>	<b>33,120</b>	<b>35,814</b>	<b>+2,694</b>
<b>純資産</b>	<b>12,785</b>	<b>12,554</b>	<b>△231</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>45,905</b>	<b>48,369</b>	<b>+2,464</b>

## 主な増減要因

- 売掛債権・棚卸資産の増加  
販売数量の増加
- 買掛金の減少
  - 関税延納制度（※）における延納枠切り替えに伴う旧枠で支払猶予を受けていた関税の支払
  - 前年度末に農畜産業振興機構の入札で応募した商品の仕入が集中
- 有利子負債の増加  
売上増加による資金需要増に伴う短期借入金の増加

(※) 関税延納制度：輸入者が輸入（納税・特例）申告をしたときに当該輸入（納税・特例）申告に係る関税の納期限の延長を申請し、かつ担保を税関に提出することにより納期限の延長を受けられる制度

(財務数値の表示は端数切捨て、内訳は主要項目のみ記載)

**参考資料：為替関連**

## ■ 当社は基本的に為替リスクを負わないビジネスモデル

海外仕入先との外貨建て仕入契約締結と同時に、国内顧客と円貨の販売契約締結。

その際、仕入外貨額に対する為替予約をすることで為替リスクをヘッジしている。

## ■ 但し、当社は外貨為替会計処理基準における原則法を採用しているため、

### 会計上の表示が特徴的

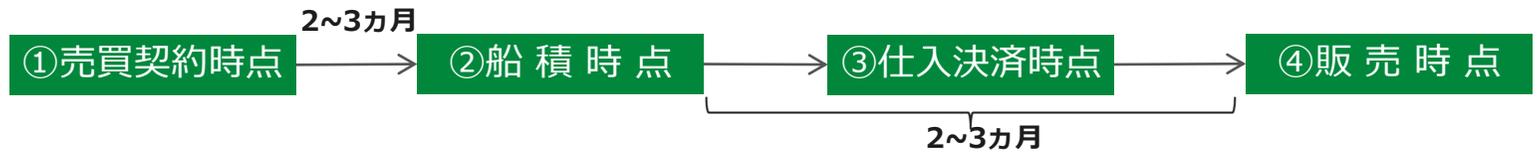
その特徴は、①為替差損益が売上総利益と営業外損益の表示の両方に影響し、

また②営業取引が期をまたがることがあるので期間損益に影響を与えることがある。

しかしながら、最終的には当初の為替レートにより想定された経常利益と同額となるため、実質的な利益に影響はない。

# 売買取引のイメージ（為替の影響）

為替レートが変動しても、実質的な利益には影響しない。



処理

■ 為替予約（①時点レート）  
 ※同時期に行う処理  
 ■ 仕入先と外貨建て契約  
 ■ 販売先と円建て契約  
 = 実質的な利益確定

■ 仕入計上  
 = 実勢為替レート  
 （②時点レート）

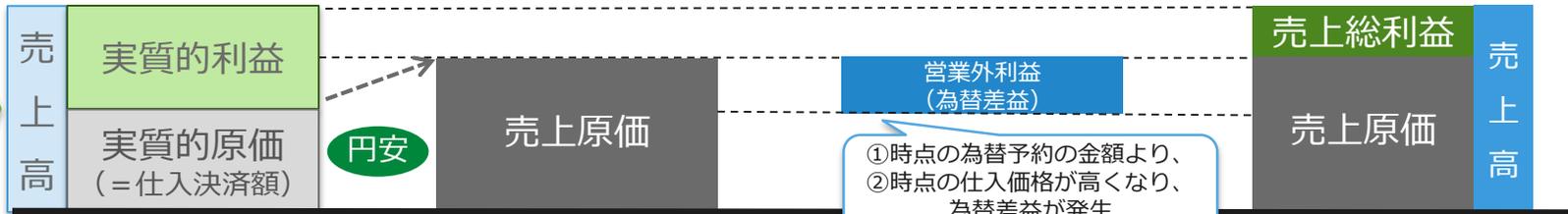
■ ①と②時点の  
 為替変動差を  
 為替差損益として計上

■ 売上計上  
 （①時点で契約した円建金額）  
 = ①～④の処理が通算され、  
 ①時点の実質的利益及び  
 原価と同額が会計上も計上

為替レート  
変動なし



為替レート  
円安



為替レート  
円高

